

中国経済レポート No.28

ASEAN・中国自由貿易協定(ACFTA)の本格始動と 中国の貿易動向

【目次】

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 1 . V字回復する中国の輸出..... | p.1 |
| 2 . 大幅に増加する ASEAN 向け輸出 | p.2 |
| 3 . ASEAN の対中輸出も大幅に増加..... | p.3 |
| 4 . 緊密化する中国と ASEAN の経済関係 | p.4 |

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

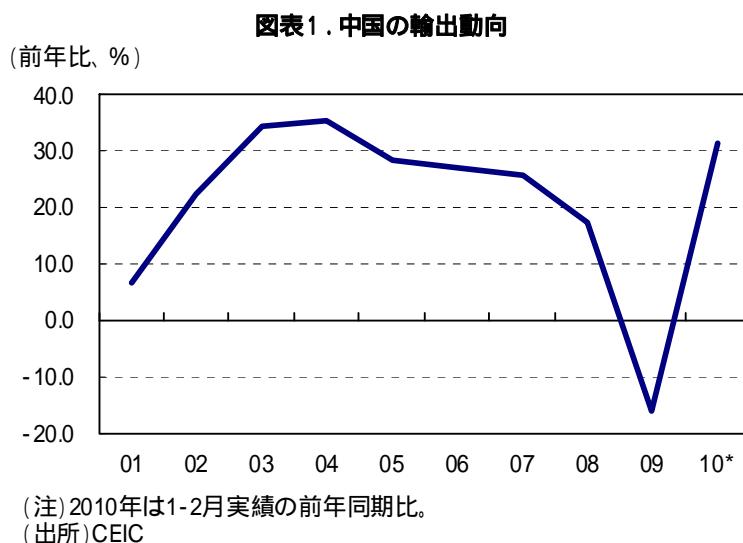
調査部 野田 麻里子 (chosa-report@murc.jp)

〒108-8248 東京都港区港南2-16-4

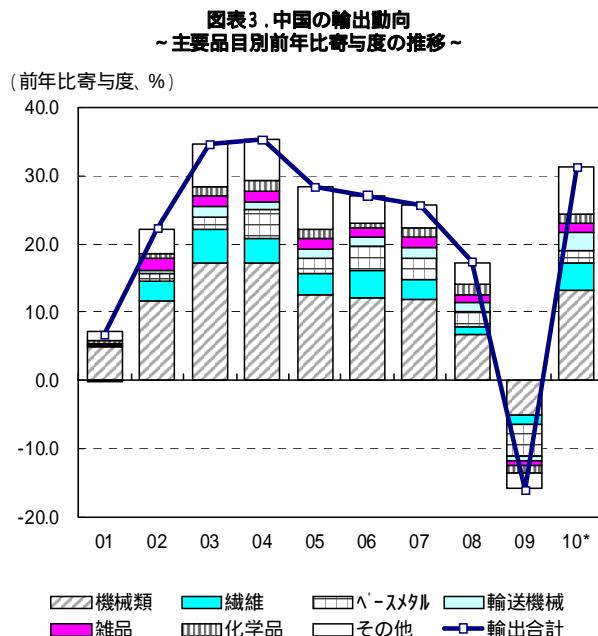
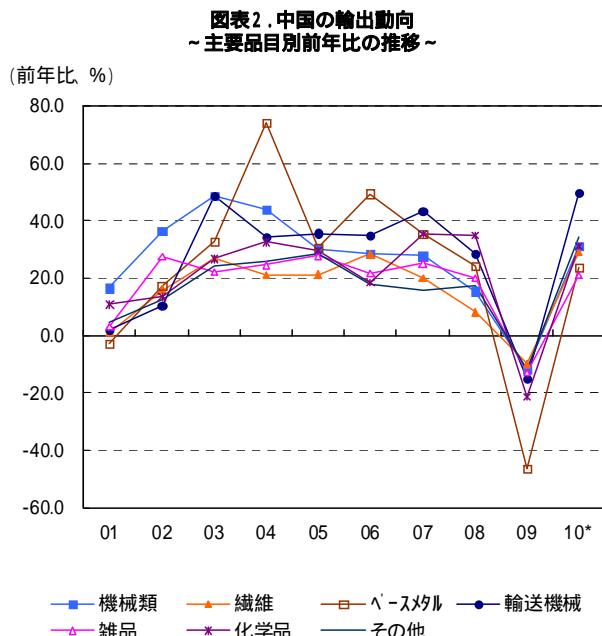
TEL: 03-6711-1250

1. V字回復する中国の輸出

政府の景気テコ入れ策を受けて拡大する投資や消費に加えて、輸出も足元、急回復している。2010年1-2月期の輸出の伸び率は前年比31.4%増と、金融危機後の落ち込みからの反動もあり、輸出が大幅に拡大した2003年や2004年並みの高い伸び率となっている（図表1）。



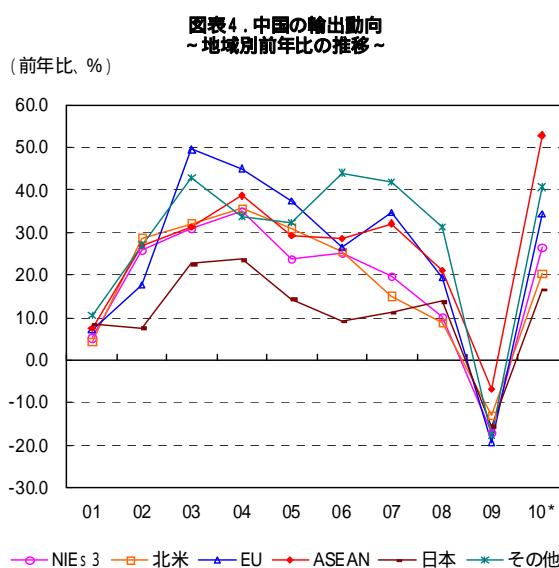
品目別には機械類が前年比31.1%増、繊維製品が同28.9%増、以下ベースメタル（同23.6%増）、輸送機械（同49.9%増）、家具や玩具などの雑品（同21.2%増）、化学品（同31.1%増）と主要輸出品がいずれも大幅に増加し、輸出の急回復をもたらしている（図表2、3）。



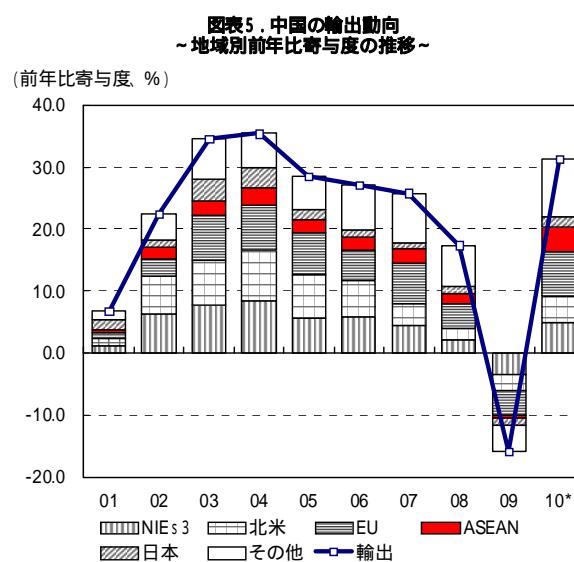
2. 大幅に増加する ASEAN 向け輸出

地域別には、輸出の約 2 割を占める NIEs 3 力国（香港、台湾、韓国）、北米（米国、カナダ等）、EU 向けがそれぞれ前年比 26.4% 増、20.2% 増、34.4% 増と大幅に増加したのに加えて、ASEAN 向けが同 52.9% 増と大幅に拡大（図表 4）。GDP 規模では EU や北米の約 10 分の 1 にすぎない ASEAN 向け輸出の増加寄与度が大幅に拡大している（図表 5）。

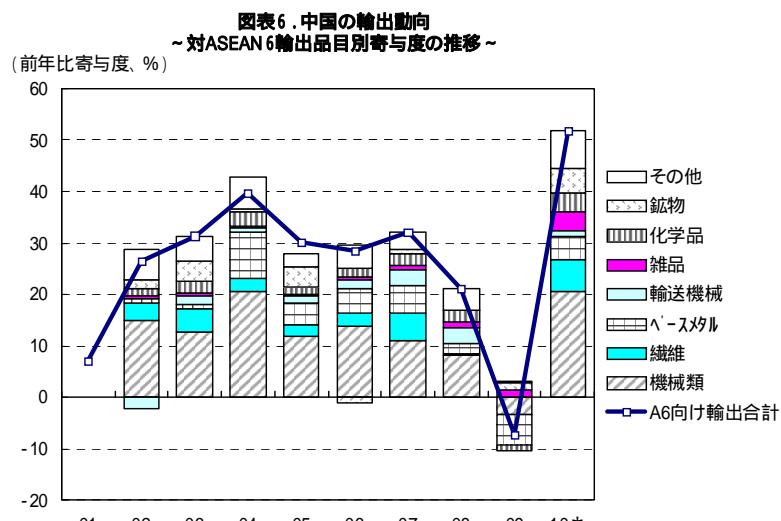
これには ASEAN 諸国の景気回復が総じて堅調であることに加えて、2010 年 1 月から ASEAN と中国の自由貿易協定（ACFTA）が本格始動し、中国と ASEAN 原加盟国（インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ 6 力国）との間で一部の品目を除いて関税が撤廃されたことも影響していると見られる。実際、中国の対 ASEAN 向け輸出の主要品目別寄与度の推移をみると機械類を中心に大幅に増加しており、ASEAN 諸国の中でも中国製品の流入急増に対する警戒感が高まっている状況である（図表 6）。



(注) 2010年は1-2月実績の前年同期比。NIEs 3は香港、台湾、韓国。
(出所) CEIC



(注) 2010年は1-2月実績の前年同期比寄与度。
NIEs 3は香港、台湾、韓国。
(出所) CEIC

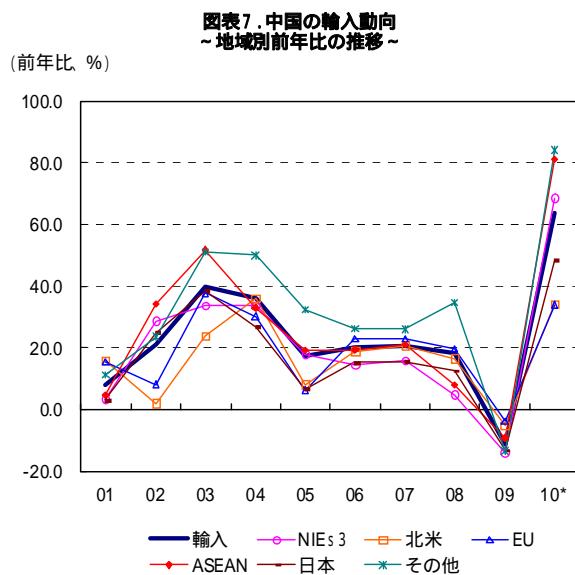


(注) 2010年は1-2月実績の前年同期比。ASEAN 6 (A6)はインドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、ベトナム。
(出所) CEIC

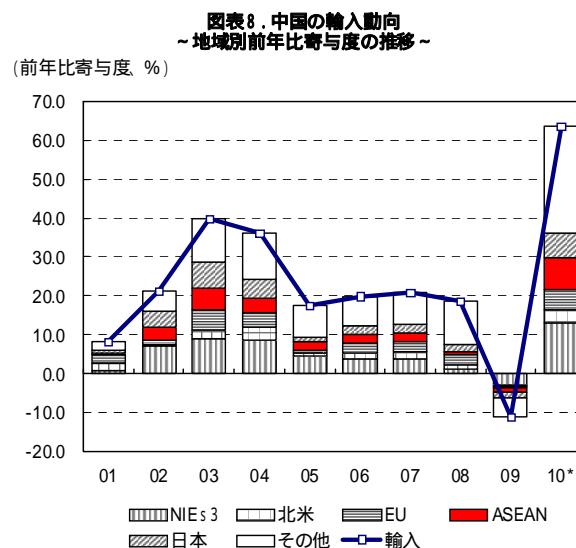
3. ASEAN の対中輸出も大幅に増加

一方、中国の急速な景気回復もあり、ASEAN の対中輸出、すなわち中国の ASEAN からの輸入も大幅に増加している。2010 年 1-2 月期の中国の輸入は前年同期比 63.6% 増と大幅に増加したが、ASEAN からの輸入は同 81.0% 増とこれを上回って増加。輸入增加寄与度も香港、台湾、韓国の NIEs3 力国に次ぐ高い寄与度となっている（図表 7、8）。

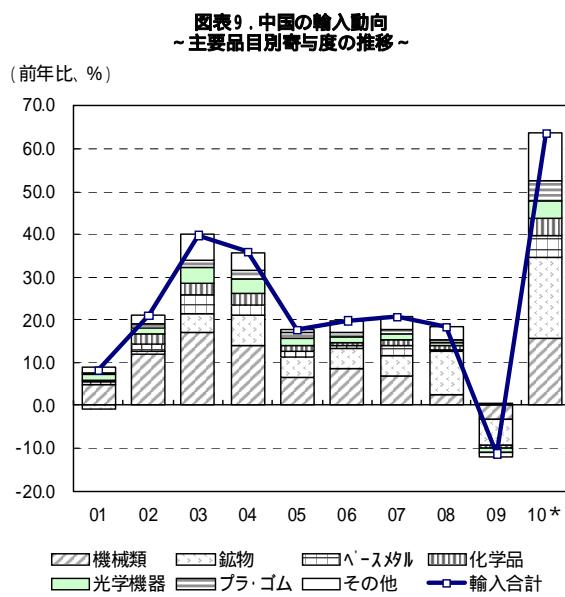
品目別には、輸入全体では機械類に加えて鉱物など原材料の輸入も大幅に増加しているが、ASEAN からは機械類の輸入の寄与度が断トツに高くなっている（図表 9、10）。



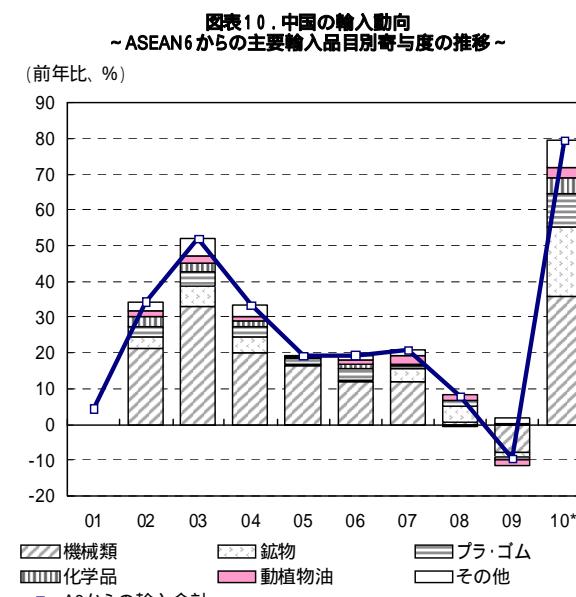
(注)2010年は1-2月実績の前年同期比。NIEs3は香港、台湾、韓国。
(出所)CEIC



(注)2010年は1-2月実績の前年同期比寄与度。
NIEs3は香港、台湾、韓国。
(出所)CEIC

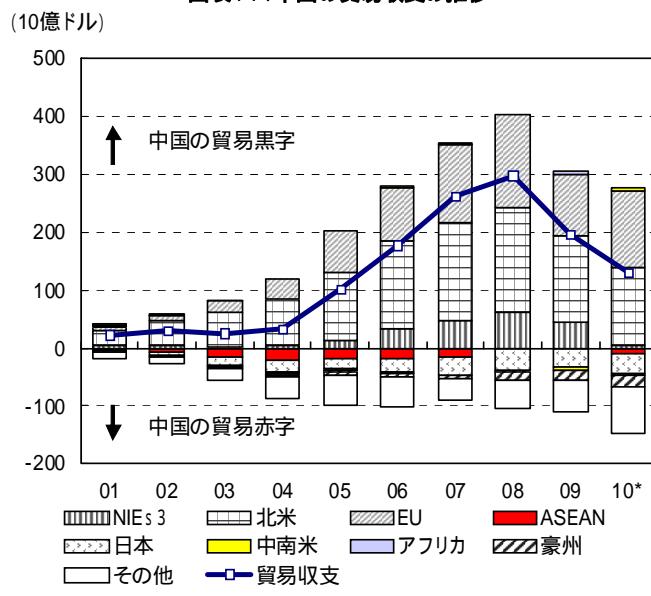


(注)2010年は1-2月実績の前年同期比。
(出所)CEIC

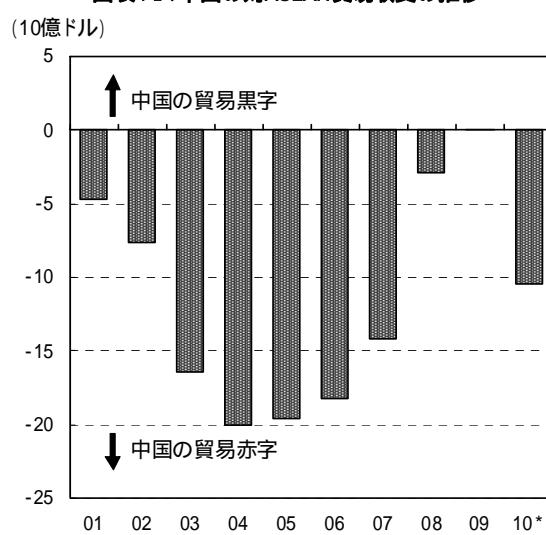


(注)2010年は1-2月実績の前年同期比。ASEAN6 (A6)はインドネシア、
タイ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、ベトナム。
(出所)CEIC

その結果、2009年に一旦、黒字に転じた中国の対 ASEAN 貿易収支は 2010 年 1-2 月実績ベースでは再び赤字（ASEAN 側の貿易黒字）に転じている。1-2 月の 2 ヶ月間の実績にすぎないが、ASEAN 内で聞かれる「中国脅威論」とは裏腹に、ACFTA の本格始動とともに、中国が ASEAN にとって再び有望な輸出市場となっている可能性が示唆されていると言えるだろう（図表 12）。

図表11. 中国の貿易収支の推移


(注1) NIEs 3: 香港、韓国、台湾。
(注2) 2010年は1-2月実績の年率換算値。
(出所) CEIC

図表12. 中国の対ASEAN貿易収支の推移


(注) 2010年は1-2月実績の年率換算値。
(出所) CEIC

4. 緊密化する中国と ASEAN の経済関係

中国と ASEAN の貿易量が大幅に増加しているもうひとつの要因として中国の対 ASEAN 投資が拡大していることに注目してみた。「走出去（海外進出）」戦略の本格化に伴って昨今、中国の対外直接投資が拡大している。投資ストックでみると中心は近接する香港、あるいは資源関連の中南米やアフリカだが、これに次ぐ投資先が ASEAN である（図表 13）。ASEAN 向けの投資はインフラ関連や農業関連が多いことに加え、製造業向けの投資が相対的に多くなっているという特徴がある。実際、2008 年末のストックベースで中国の対製造業向け直接投資の 11.8% を対 ASEAN 向け投資が占めており、「世界の工場」中国と ASEAN の一体化が進んでいることが示唆される（次頁図表 14）。

図表13. 中国の対外直接投資地域別内訳(ストックベース)

	03年	04年	05年	06年	07年	08年	シェア(%)	03-08年の年平均伸び率
合計	33,222	44,777	57,206	75,026	117,911	183,971	100.0	40.8
NIEs 3	24,868	30,955	37,389	43,219	69,996	116,696	63.4	36.2
北米	549	909	1,263	1,587	3,241	3,660	2.0	46.2
EU27	422	537	769	1,275	2,942	3,174	1.7	49.7
ASEAN	587	956	1,256	1,763	3,953	6,487	3.5	61.7
日本	89	139	151	224	558	510	0.3	41.7
中南米	4,619	8,268	11,470	19,694	24,701	32,240	17.5	47.5
アフリカ	491	900	1,595	2,557	4,462	7,804	4.2	73.9
豪州	472	544	650	939	1,830	3,816	2.1	51.9
その他	1,125	1,569	2,662	3,767	6,227	9,585	5.2	53.5

(注) NIEs 3: 香港、韓国、台湾。
(出所) 中国対外直接投資統計公報



今後、ACFTA の関税削減スケジュールに基づき CLMV 諸国と呼ばれるカンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナムとの間でも関税の引き下げが進む予定であり、地理的な近接さにも支えられて中国と ASEAN 経済の緊密化が一段と進むと考えられる。中国と ASEAN の経済関係といった場合には、両者の競合関係が注目される傾向がある。しかし、実際には、ACFTA 本格始動 2 ヶ月後の状況が示すように、共存共栄し、アジア地域の発展に寄与するのではないだろうか。

図表14. 中国の対外直接投資(ストックベース)業種別内訳の推移 (百万ドル)

	04年	05年	06年	07年	08年	各業種に占める対ASEAN投資の割合
農林漁業	834	512	817	1,206	1,468	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	149	191	13.0
鉱業	5,951	8,652	17,902	15,014	22,868	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	197	438	1.9
製造業	4,538	5,770	7,530	9,544	9,662	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	904	1,141	11.8
電力・ガス・水道	220	287	446	595	1,847	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	210	1,385	75.0
建設	817	1,204	1,570	1,634	2,681	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	327	490	18.3
交通運輸・倉庫・郵便	4,581	7,083	7,568	12,059	14,520	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	321	601	4.1
情報(IT)	1,192	1,324	1,450	1,901	1,667	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	14	35	2.1
卸小売	7,843	11,418	12,955	20,233	29,859	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	612	704	2.4
ホテル・外食	21	46	61	121	137	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	12	12	9.1
金融	0	0	15,605	16,720	36,694	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	413	454	1.2
不動産	203	1,495	2,019	4,514	4,098	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	24	24	0.6
リース・ビジネスサービス	16,428	16,554	19,464	30,515	54,583	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	706	867	1.6
科学研究・技術サービス	124	604	1,121	1,521	1,982	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	98	121	6.1
水利・環境・公共施設管理	911	910	918	921	1,063	
住民サービス・その他サービス	1,093	1,323	1,174	1,299	715	
うち 対ASEAN	n.a.	n.a.	n.a.	8	13	1.9
教育	0	0	2	17	17	
公衆衛生・社会保障	0	0	3	4	4	
文化スポーツ娯楽	6	5	26	92	107	
公共管理	14	18	0	0	0	
合計	44,777	57,206	90,631	117,911	183,971	

(注1)対ASEAN投資の業種別内訳がわかるのは19業種のうち14業種のみ。

(注2)対ASEANの2007年の数値は2008年のストックの値から2008年のフローの値を差し引いて算出。

(出所)中国対外直接投資統計公報

以上

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。